

No.12-2006

平成18年12月31日発行

12月例会・卒業式を終えて



去る12月13日(水)シャインプラザ平安閣にて12月例会並びに卒業式が開催されました。

2006年度を締めくくる12月例会では渡部理事長の挨拶からはじまり、褒賞授与並びにプレジデントシャルリース交換、そして進藤理事長予定者からの挨拶と進められました。

渡部理事長からは1年間の感謝の気持ちを、進藤理事長予定者からは次年度の豊富と挨拶を戴きました。また褒賞では、最優秀団体賞に青少年育成委員会、団体賞は地域ネットワーク開発委員会が、そして優秀Jaycee賞には中村純也君が受賞されました。その他にも優秀出向者賞・諸会議出席者賞・最優秀新人賞・理事長特別賞と数多くの方々を受賞されました。おめでとうございます。

その後「熱い志を胸に 空高く舞い上がれ 天馬のごとく!」のテーマの下、昭和41年午年生まれの14名の門出を祝うべく卒業式が開催されました。OB会員を

含め約160名もの出席を誇り卒業生は勿論のこと、出席された皆様の心に残るような卒業式であったと思います。

今年の卒業式は、荻原常任理事・加藤委員長のアイデアで卒業式全体が「格闘イベント」をイメージした流れで進行されました。入場は、各卒業生が思い出に残るプロレスラーの入場曲やアニメソングをBGMに入場口から花道を通り、前日より委員会メンバー全員で作成した特設リングに登壇されました。まるでテレビで放送されている格闘イベントの入場を思わせる光景でした。



その後、卒業生へ渡部理事長より卒業記念品が授与され、アトラクション、送辞へと進みました。送辞前は、会場を暗転させている間に特設リングのロープを取り外し卒業生の顔が出席者全員の顔が見えるように考慮させて戴きました。送辞は青井智君より卒業生各人へ感謝の気持ちを込めユーモアのある送辞を戴きました。

そして答辞。斎藤秀光君より長いJC生活に対する熱い思いが

たくさん詰まった感動させられる送辞を戴きました。会場の中では目頭を押さえ涙を流している方もおられました。

卒業生の皆様今まで本当にお疲れさまでした。また今後の更なるご活躍を期待しております。

最後に12月例会・卒業式を無事進行する事ができたのも、皆様からのご協力があったからだと思っています。終了後の搬出も手伝って戴き重々本当にありがとうございました。

情報戦略推進委員会 運営幹事 吉田 政彦



卒業生JC履歴

石田 隆一 いしだりゅういち

- H11.7 入会
- H11 会員拡大委員会
- H12 NPO支援委員会 運営幹事
- H13 事務局次長
- H14 情報コミュニティ創造委員会 副委員長
- H15 情報コミュニティ推進委員会 委員長
- H16 魅力あるあきた推進委員会 委員長
- H17 常任理事 魅力あるあきた創造室長
- H18 監事

伊藤 紳 いとうしん

- H14.7 入会
- H14 50周年記念誌編集委員会
- H15 渉外委員会
- <出向>ブロック：総務委員会
- H16 情報サービス委員会
- H17 人間力大賞運営委員会
- H18 人間力開発委員会 副委員長

岩田 幸久 いわたともひさ

- H11.1 入会
- H11 メディアサポート委員会
- H12 広報委員会
- H13 青少年育成委員会
- H14 広報委員会 委員長
- H15 会員拡大委員会
- <出向>地区：情報ネットワーク推進委員会
- H16 会員拡大委員会
- H17 青少年育成委員会
- H18 組織進化推進委員会

岩本 之正 いわもとゆきまさ

- H6.1 入会
- H6 アメニティ委員会
- H7 渉外委員会
- H8 クリーンアップ特別委員会 運営幹事
- <出向>ブロック：渉外特別委員会支援委員
- H9 環境問題委員会 委員長
- H10 新経営開発委員会 副委員長
- H11 会員拡大委員会 委員長
- <出向>ブロック：JC運動推進委員会
- H12 常任理事 総務渉外室室長
- H13 専務理事
- H14 副理事長
- H15 副理事長
- <出向>地区：東北青年フォーラムプロデュース委員会
- <出向>地区：東北青年フォーラムプロデュース委員会
- H16 出向理事
- <出向>地区：運営専務
- <出向>地区：運営専務 ブロック：出向役員
- <出向>ブロック：出向役員
- H17 副理事長
- <出向>日本：会計監査人グループ 委員
- <出向>地区：監事
- <出向>ブロック：出向役員
- H18 出向理事
- <出向>地区：組織戦略特別会議 議長
- <出向>ブロック：出向役員

越中谷 孝一 えちゅうやこういち

- H14.7 入会
- H14 青少年育成委員会
- H15 総務委員会
- H16 渉外委員会
- H17 組織進化検討委員会
- H18 会員研修委員会

岡竹 博昭 おかたけひろあき

- H14.1 入会
- H14 情報コミュニティ創造委員会
- H15 情報コミュニティ推進委員会 運営幹事
- <出向>地区：情報ネットワーク推進委員会
- H16 青少年育成委員会 副委員長
- <出向>地区：総務グループ 総務委員会
- H17 魅力あるあきた推進委員会
- <出向>日本：総務グループ 全国大会運営会議
- H18 人間力大賞運営委員会
- <出向>日本：総務グループ 全国大会運営会議

小南 淳 こみなみじゅん

- H13.1 入会
- H13 50周年企画特別委員会
- H14 人間力開発創造委員会 運営幹事
- H15 人間力開発推進委員会 委員長
- H16 総務・交流委員会 委員長
- H17 常任理事 組織進化室長
- H18 監事

齋藤 秀光 さいとうしゅうこう

- H4.7 入会
- H4 会員拡大委員会
- H5 事務局次長
- <出向>地区：東北アカデミー委員会 委員
- H6 T O Y P ネットワーク委員会 運営幹事
- H7 渉外委員会 副委員長
- <出向>地区：事務局次長
- H8 副専務理事
- H9 ほっとCityあきた'97委員会 委員長
- H10 地域文化デザイン委員会 委員長
- <出向>地区：心のスタンダードプログラム 推進特別委員会
- H11 常任理事 ネットワーク室室長
- H12 会員交流委員会
- H13 常任理事 50周年企画特別委員会委員長
- H14 専務理事
- H15 理事長
- H16 直前理事長
- <出向>日本：JCの環創造グループ
- <出向>全国大会運営会議 副議長
- <出向>ブロック：出向役員
- H17 特別顧問
- <出向>日本：総務グループ 全国大会運営会議 議長
- H18 監事
- <出向>日本：情報支援グループ 担当常任理事
- <出向>ブロック：出向役員

佐藤 弘康 さとうひろやす

- H7.7 入会
- H7 会員交流委員会
- H8 行動制作アピール委員会
- H9 総務委員会
- H10 総務委員会
- H11 会員拡大委員会
- H12 NPO支援委員会
- H13 バランスコミュニティ創造委員会
- H14 新環境社会創造委員会
- H15 会員拡大委員会
- H16 魅力あるあきた推進委員会
- H17 人間力開発委員会
- H18 青少年育成委員会

平川 英男 ひらかわひでお

- H7.1 入会
- H7 T O Y P 大賞運営委員会
- H8 クリーンアップ特別委員会

- <出向>日本：ブロック研修連絡会議
- H9 ほっとCityあきた'97委員会 副委員長
- H10 EDPサポート委員会 委員長
- H11 地域市民権推進委員会 委員長
- H12 環境行動支援委員会
- <出向>ブロック：地域の先づくり運動推進委員会
- H13 50周年企画特別委員会
- H14 常任理事 人間力開発室長
- H15 常任理事 共育コミュニティ推進室長
- H16 副理事長
- H17 副理事長
- H18 環境行動推進委員会

藤原 成洋 ふじわらよしひろ

- H14.1 入会
- H14 50周年記念誌編集委員会
- H15 総務委員会 運営幹事
- H16 環境行動推進委員会 委員長
- H17 環境行動推進委員会
- <出向>ブロック：ブロック大会運営委員会 副委員長
- H18 常任理事 未来創造室長

松本 大 まつもとはじめ

- H9.7 入会
- H9 情報ネットワーク委員会
- H10 教育問題検討会議 運営幹事
- <出向>ブロック：わんぱく相撲特別委員会 運営幹事
- <出向>地区：環境運動推進委員会
- H12 広報委員会 委員長
- H13 NPOネットワーク委員会
- H14 青少年育成委員会
- H15 T O Y P 事業推進委員会
- <出向>ブロック：わんぱく相撲運営委員会
- H16 事務局次長
- H17 人間力大賞運営委員会
- <出向>日本：総務グループ 全国大会運営会議
- <出向>地区：全国大会支援会議
- H18 情報戦略推進委員会
- <出向>地区：全国大会連携実践委員会 幹事

最上 英嗣 ながみひでつぐ

- H8.1 入会
- H8 会員拡大委員会
- H9 渉外委員会 運営幹事
- H10 2001 L O M 構想委員会
- H11 T O Y P ネットワーク委員会 副委員長
- H12 家庭教育対応委員会
- <出向>地区：誇りある東北創造委員会
- H13 青少年育成委員会 副委員長
- <出向>ブロック：わんぱく相撲運営委員会
- H14 広報委員会 副委員長
- <出向>ブロック：会員サービス委員会
- H15 渉外委員会 委員長
- H16 国を考える委員会 委員長
- H17 常任理事 未来創造室長
- <出向>地区：全国大会支援会議 副議長
- H18 総務交流委員会

山内 積 やまのうちせき

- H15.7 入会
- H15 P・C・Aアクションプラン策定委員会
- H16 国を考える委員会
- H17 環境行動推進委員会
- H18 魅力あるあきた推進委員会

(五十音順)

手作りクリスマス会を終えて

12月3日。毎年恒例のクリスマス会を秋田キャッスルホテル・アゼーリアにて行いました。当日はあいにくの小雪が舞う寒い日ではありましたが、60名近いメンバーとその家族の皆様に参加して戴き、とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

今回は、予算が少ない中、担当である我々事務局メンバーの手作りクリスマス会となりましたが、ミニコンサートあり、ビンゴ大会あり、ビデオ上映ありと内容も盛りだくさん。特に多くのメンバーより協賛戴いたビンゴ大会は大盛況でした。

短い時間ではありましたが、家族との楽しい思い出にして戴けたのではないかなと思っております。終わってからの皆さんの笑顔が忘れられませんでした。正直とても嬉しかったですね。

最後になりましたが、ご協賛戴きましたメンバーの皆様、そしてお手伝い戴きましたメンバー、ホテルの皆様には厚く御礼申し上げます。来年も楽しいクリスマス会が開かれることを期待いたします。

事務局次長 本田正博



感謝～2006年を振り返り

谷口理事長から理事長のバトンを受け取って早1年が過ぎようとしております。こんな私に理事長職が務まるのかという不安を持ちながらも、このあきたを元気にしたい、夢が溢れる社会に近づきたいという思いで一年を過ごしてまいりました。

本年度は「夢の実現へ邁進 行動力こそJらしさ」というスローガンを掲げさせていただきました。「夢」というキーワードは言葉として簡単に理解することはできませんが、立場やタイミング、そしてそれぞれの考え方によってとらえ方が違ってきます。人は夢を描くことで未来を創造してきました。今我々が自由に便利に生活をしていられるのも、先人が夢を描いてアクションをしてくれた結果、享受できているものなのではないでしょうか。先人に感謝しながらも、我々の夢が次の世代のどのような幸せに繋がっていくのかは、我々の使命であると私は考えます。

本年度理事長職を務め、メンバー一人ひとりの夢が私を奮い立たせてくれたと強く感じました。

【魅力あるまちあきたの創造】

「このあきたが地域に住む人々にとって誇りあるものにするためには」という課題をもって事業を行ってまいりました。高清水の丘歴史ロマンコースツアーでは、あきたの誇るべき史跡が数多く集まる高清水地区周辺を中心にウォークラリーを行い、そして理解を深めました。この事業は単にこの地域の歴史を知ることにと留まらず、更なる探求心の芽生えと地域愛を育むことを目的としております。地域の魅力は対外的に発信することも大事ですが、地域に住む市民が誇りを感じていることが大切であると強く実感できる事業であったと思います。

また、TOYP2006あきた人間力大賞では、あきたを良くしたいという強い思いを持った数多くの傑出した若者を候補者として発掘し、一人を大賞として表彰させていただきました。「人」はあきたの誇りの重要なファクターであります。発掘そして調査の段階から表彰まで我々も多くの学びを得ることができました。今後はこの人間力大賞が更なるステージアップをし、傑出した若者により強いスポットライトが当たるようにしていきたいと思っております。

人間力開発事業では、本年度も多くの人たちにプログラムを実施いたしました。またこの事業を継続的に実施できる基盤の一つになることを目的に「HANAUTA倶楽部」を立ち上げました。5年目を迎えたこの事業も進化が必要であります。進化について深く考えることのできた一年であったと思います。人間力溢れる人々が集まるまちが「魅力あるまちあきた」であると信じ、これからも展開して行きたいと考えます。

地域ネットワーク開発事業は今年度立ち上げた事業であります。このあきたにどのような活動をしている団体があるのか？ コラボレートの可能性は？とわからないことばかりでスタートした事業でしたが、各団体との意見の交換から協働事業まで今後を期待できるころまで進捗いたしました。秋田JCがより市民の求めに応えられる集団になるためにも地域のネットワークをより広く、そして強固にしていく必要を強く感じました。

【地域の共育力の強化】

夢と希望に溢れキラキラした目を持つ子供たちを育てるため、青少年育成事業では「商店街で一日丸ごと職場体験しよう」と「世界の文化にふれて、でっかい夢を見つけよう」という2つの事業を実施しました。実際の職場体験と留学生の夢に触れる事業で、子供たちの夢を膨らませることができたのではと思います。どちらも一からの手作り事業でしたので、メンバーにとっても勉強になりました。

環境行動推進事業では、昨年からの継続事業である「サケの稚魚の放流」「打ち水大作戦」とソーラーカーを活用した環境学習を実施いたしました。環境のために行動することの中でも、次世代の環境を守る子供たちに問題意識を感じていただくことは重要です。

青少年育成と環境行動推進は秋田Jの得意分野であると言われてきました。今の時代の課題に対応することを常に意識し行動していく必要があると思っております。

【組織の進化】

公益法人制度改革が間近となった2006年は研究の一年であったと思います。真の公益性とは何なのだろうと自分たちの事業と照らし合わせながら問いかけ、次のビジョン策定の基礎を作るべく活動いたしました。メンバー同士でこのテーマについて様々な話し合いが行われることで、我々のやるべき事業の方向性がより明確になったのではないかと思います。組織の進化は制度改革のために行うのではなく、存在意義そのものを常に意識することで進むものであると強く感じました。

【基本の再認識】

会員の資質向上やコミュニケーションの充実がJC活動のパワーの源のひとつであります。まちづくりのリーダーであるために必要なスキルや意識を向上するための努力は常に行わなくてはなりません。本年度は特にコミュニケーションスキルの向上に向け研修を行いました。また、交流事業では、スポーツ交流と家族交流を実施いたしました。

メンバー同士の絆の強さが活動の推進力なり、夢の実現へ近づく必要な要素であると思います。そして全ての事業を記録し外部発信する情報戦略事業では電子媒体だけではなく、事業紹介パネルを作成し、様々な対外事業で秋田JCの活動を市民の皆様にご覧いただく機会を作りました。地域に我々の活動を理解していただくことは重要な基本の一つであると確信しております。この一年間メンバーが感じた緊張感や達成感が次年度の勢いに繋がってほしいと思っております。

【結びに】

2007年(社)秋田青年会議所は創立55周年を迎えます。55年という一つの節目に我々の年代が何を残せるのか悔いの残らないようにラスト一年を有意義なものにしていく所存です。一年間共に活動したメンバーの皆さんに心から感謝を申し上げます。